



このタイトルは職員公募により選定されたもの。精神的・身体的・社会的に調和（ハーモニー）のとれた医療人、そして病院でありたいという願いが込められている。[題字/理事長 森山 領]

2024年12月



令和6年12月 高気圧酸素治療を開始

## INFORMATION

- |                  |   |              |   |
|------------------|---|--------------|---|
| ◆なるほどそうな科あ…血管外科編 | 2 | ◆Topics      | 7 |
| ◆介護の知識           | 4 | ◆外来診療時間／編集後記 | 8 |
| ◆お知らせ            | 5 |              |   |



病院では患者様の状態、症状にそってたくさん「科」があります。そんな知っているようで知らない「科」を専門の医師から詳しく、わかりやすく説明していきます。

文責／血管外科医師 多田 裕樹

## 血管外科では

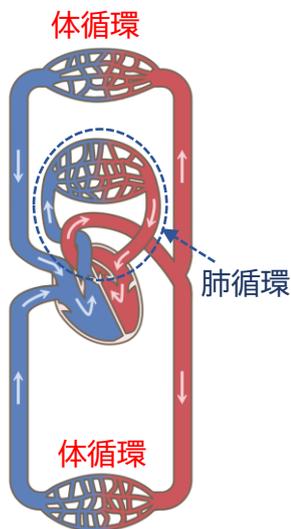
### 何が治療できるの？



連載の第2回目になります。ここでは、血管外科で扱う疾患や症状のうち、動脈に関わるものについてご説明したいと思います。

#### 動脈のはたらき

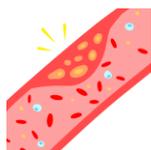
全身の血液循環は、大きく分けて肺循環（はいじゅんかん）と体循環（たいじゅんかん）に分けられます。肺循環を終え、二酸化炭素と酸素の交換をした後の酸素を多く含む血液が、体循環で全身へ送られていきます。この血液を送るための血管が動脈ですが、心臓から出る際の強い圧力を受け止め、全身の臓器に血液を届けるために、丈夫で弾性に富んだ構造となっています。



また、血液は本来、血液自体の成分によって一般に固まる性質（血液凝固、凝血、血栓化）を持ちます。体内では血液の成分や条件が整えられていることで血栓化を防いでいたり、血管内を絶えず流動することで固まりにくくなっています。さらに、血管には内膜と呼ばれるコーティングのような層が存在し、その機能によっても血液が固まることを防いでいます。

このように動脈は様々な特性を持っていますが、それが先天的な問題または加齢などにより低下・欠損することで、健康上のトラブルの元となる場合があります。そのうち代表的なものに、ここでご紹介する動脈閉塞・狭窄や動脈瘤があります。

#### 動脈閉塞・狭窄



加齢や高血圧・高血糖・喫煙などによる有害物質により、徐々に動脈の内膜が障害されます。通常は、それに対する修復作用が働きますが、その際、不良な脂質などが蓄積していくと、血管の内側に突出するプラークとなります。このような形で血流の通り道が細

くなっていき、細くなった部位に血栓ができたり、もろいプラークが強い血流の中で破綻しその反応でさらにプラークが積み重なることで、血管の閉塞に至ります。他にもさまざまな機序が関連していると言われますが、これが慢性的に動脈が閉塞する代表的なパターンです。鍋やポットなどの表面コーティングが次第に悪くなって、サビがついていくのと感覚的には近いかもしれません。

他にも不整脈などで心臓内に血栓が形成され、その血栓が動脈に流れて急激な動脈閉塞をきたすパターンや、先述の物理的・化学的な働きによるストレスによって動脈の弾性や収縮拡張に関わる層（中膜）に石灰が沈着する反応が生じ（石灰化）、徐々に動脈が狭窄していくパターンなども知られています。

動脈が狭窄・閉塞することで、組織の血流不足（虚血）の症状が現れます。脳卒中や狭心症・心筋梗塞などはよく知られておりますが、全身の動脈で同様の虚血は起こり得ます。中でも心臓から最も遠く位置する足の虚血は、頻度の高い疾患です。

重症度の分類は従来、4段階に分けられ

- ① 下肢の冷感
- ② 間歇性跛行(長距離歩行すると脚が痛くなる)
- ③ 安静時疼痛
- ④ 潰瘍・壊疽

とされ、③④が重症と言われてきましたが、本来重症であるのに、症状を自覚できない・症状を訴えられない、などによって①のように見えてしまう例(潜在的重症下肢虚血)に注意喚起がなされています。

## 動脈瘤

動脈硬化のメカニズムで、同時に起こりうるのが瘤化です。

動脈硬化の結果、動脈は硬く、かつ脆くなっています。また全身の血管が弾力を失うと、効率よく組織に血流を届けるのが難しくなるため、仕方なく心臓はより強い力で血流を押し出すように対応します。硬い血管に強い血流が流れることで血圧は上昇し、さらに強い力が血管の壁にかかるようになります。もろくなった血管の壁は内部の圧力に負け、劣化したゴムのように伸び、動脈径が拡大するとともに壁は強度を失っていきます。

こうして動脈瘤が形成され拡大していきますが、動脈の内圧が壁の強度を上回ったとき、動脈は破裂し、大出血を起こします(動脈瘤破裂)。以前のデータですが、いったん破裂すると50%は病院到着前に死亡し、残りの24%は手術前に死亡、さらに破裂での緊急手術で42%は術後に死亡するとの報告もあり、全死亡率は

80~90%とも言われています。

類似する状況として、動脈の外膜はなんとか裂けずに耐えたものの内膜は裂けてしまう、動脈解離という病気も存在します。

これらを総称して大動脈緊急症と呼び、近年日本中で救急医療体制の構築が叫ばれています。都市部に比べて北海道では手術成績が良いデータもありますが、そのデータの真意は、交通の便や緊急医療の体制面の問題で、破裂症例のうち比較的安定したケースしか病院まで辿り着けていない、と解釈されています。

いずれも発症すると生命にも関わる重大な状況ですが、反面、発症する直前までは特にはつきりとした症状がなく気づきにくい、という点にも注意が必要です。

今後、検診などで腹部大動脈瘤のスクリーニングを行なっていく必要性が高まるものと考えています。

## 検査と診断

動脈疾患の診断や治療方針の決定のために大切なことは、大きく分けて、症状、と血管病変についての正確な状況評価です。

症状については、痛みや冷たさ、痺れなど自覚的な症状と、色調変化や表面の温度、形態の変化など他覚的な症状とがあり、いずれも重要です。

血管病変の状況評価ですが、血流の動態を評価する検査と、血管の形態を評価する検査があ

ります。前者にはABI(足関節上腕血圧比) / TBI(足趾上腕血圧比)やSPP(皮膚灌注圧)などがあり、後者にはCTやMRIなどがあります。形態・動態いずれの評価にも役立つのが、超音波検査や下肢動脈造影検査です。

これらにより、特定の部位で血流が悪いことや、動脈が閉塞・狭窄・瘤化していることなどが診断されることで治療の必要性が明らかになります。



そして治療法を選択するにあたってもう一つ重要なのが、全身状態の詳細な評価です。

動脈疾患の注意点として、背景に動脈硬化やその他の血管疾患があることが多く、問題となっている病変以外(例として心臓・脳など)に異常が隠れてないか注意が必要です。また動脈硬化のリスク因子に加齢・高血圧・糖尿病・脂質異常症・喫煙などがありますが、これらは動脈硬化以外の多くの疾患のリスク因子でもあるため、他疾患の存在を必ず疑う必要があります。

これらの情報を総合して治療の適否、そして治療法の選択を行なっています。

今回は、動脈疾患の治療のお話をします。

# 訪問介護とは？

介護福祉士等の資格保持者や定められた研修を修了した人しか従事することができない（利用者の自宅で排泄や入浴、食事などの介護や掃除、調理、買い物などの支援を提供する介護保険制度です）在宅介護の専門職として、訪問介護員（ホームヘルパー）という言葉も広がっていき「ヘルパーさん」という呼び名も浸透してきました。

訪問介護を利用できるのは要介護、要支援の認定を受けている方で、自宅で生活している方が対象になっています。

具体的なサービス内容は身体介護と生活援助があります。



## 身体介護

身体に直接触れるサービスで、オムツ交換や排泄介助、更衣介助、入浴・食事介助、室内や屋外の移動介助が含まれます。



## 生活援助

生活援助とは掃除、調理、洗濯などの家事を行う援助です。



訪問介護の目的は利用者の自立支援や介護度の進行を防ぐことです。家事代行サービスとは違い本人ができない事の支援を行います。

訪問介護で提供されるサービスは介護支援専門員（ケアマネジャー）からの依頼を受け、ケアプラン（居宅サービス計画）に基づきサービス担当者会議にてサービスを受ける本人、家族、関係する事業所で話し合いの上、決定しサービス開始になります。

当事業所では生活支援は、要支援四十五分、要介護は五十九分、身体介護も含めた生活支援だと「時間二十九分など利用者により内容も時間もさまざまです。

利用者の身体や心身の変化に気づき、ケアマネジャーや関係事業所と連携し、住み慣れた自宅で安全で快適な生活ができますよう、これからも支援してまいります。

森山病院訪問介護事業所 武田由紀子

看護師・コメディカル・介護職員など、一緒に働いてくれるスタッフを募集しています。詳しくはこちらをチェック



元生会求人サイト

## 地域包括医療病棟 開設

令和6年9月1日より北海道で初となる地域包括医療病棟が森山病院4階病棟でスタート致しました。

地域包括医療病棟は令和6年度診療報酬改定で新設された入院基本料です。

昨今の高齢者の人口増に伴い、高齢者の救急搬送が増加しており、その中でも軽症・中等症が増加しています。また、急性期病棟に入院した高齢者の一部は、急性期の治療を受けている間に離床が進まず、ADL（日常生活動作）が低下し、急性期から回復期に転院することになり、在宅復帰が遅くなるケースがあることが報告されており、そのような状況を改善する目的として新設された入院基本料になります。

森山病院の診療部では高齢者救急患者様を率先して受け入れ、各診療科医師の連携も強化しており、更に入院患者様へリハビリスタッフ・管理栄養士が早い段階から関与し、患者様の早期退院に向けてサポートを行っていた実績が今回の地域包括医療病棟の基準にあてはまりました。

地域包括医療病棟の導入後も、看護部・地域医療連携室・事務部のスタッフが、平均在院日数・看護必要度・入院初日B項目3点以上・救急車入院割合・在宅復帰率・退院時BI値改善割合・転棟割合と7つの基準を満たせるように、救急患者様・予定入院患者様の疾病等で入棟階の振り分けを毎日協議し決定しております。

今後も高齢者医療はもとより、地域に根付いた医療・患者様に親切で信頼される医療を旨とし、地域医療に貢献できるよう職員一丸となって努力して参ります。



## 高気圧酸素治療を開始

森山病院では12月から、高気圧酸素治療を導入しました。この治療は通常的生活環境の気圧（1気圧）酸素濃度（21%）よりも、高い気圧（2気圧）の中で高濃度の酸素（100%）を吸入することで、病状の改善を目指します。

### 【高気圧酸素治療で期待される効果】

- 血液中に溶け込む酸素量を増やし、酸素不足の部位に酸素を届け、傷の治癒を促進します。
- 酸素の活性化により抗菌作用を強化し、殺菌効果を促進します。
- 体内の気体を圧縮することで、浮腫を軽減し、末梢組織の血液循環を改善します。

### 【対象疾患】

脳梗塞、難治性潰瘍を伴う末梢循環障害、重症軟部組織感染症、突発性難聴、骨髄炎、重症の熱傷・凍傷、網膜動脈閉塞症、急性一酸化炭素中毒など幅広い疾患に対応します。

### 【高気圧酸素治療時間・回数】

- 1回の治療は90～100分です。
- 治療回数は1回/日で、疾患により治療回数が異なります。
- 治療中は臨床工学技士が常に注意深く観察し、安心して治療を受けていただけます。



## 運動器の健康・日本賞「奨励賞」を受賞

訪問リハビリテーション事業所福祉村サテライト出張所に所属している大河原七生（理学療法士）が公益財団法人 運動器の健康・日本協会が取り組んでいる「運動器の健康・日本賞」において「奨励賞」を受賞しました。この賞は日本全国各地で行われている各団体・機関および個人の運動器の健康増進活動の最も独創的かつ優れた活動を顕彰しているものです。

「この活動が高く評価され、広く多くの方に知っていただけたことを本当に嬉しく思っています。この活動にご協力いただいた保育施設や鷹栖町役場の皆様、そして子どもたちに心から感謝しています。今後も仲間を増やし活動の幅を拡げながら、鷹栖町民の健康に寄与していきたいです。」大河原七生

### 活動内容

鷹栖町において理学療法士3名で「Tptティプト」という任意団体を設立し、活動の一つとして令和2年度より子どもたちの足を守るため「浮き趾（うきゆび）の調査」を開始。（浮き趾とは足の趾が床面と接地していない状態を指しており、外遊び量の減少や合わない靴を履くことが原因といわれている。）

鷹栖町の保育園および認定こども園に通っている3～6歳の子どもたちを対象に、ピドスコープという機器を使用して足裏の形態計測を実施。調査初年度には80%以上の子どもたちに浮き趾がみられていたが、令和6年度には67.8%まで減少するなど、少しずつ成果が出始めている。また、足裏の形態計測の結果を保護者に個別的にフィードバックすることで、靴の選び方や姿勢についての知識を深めてもらう活動をしている。



## 「知る」ことから始める認知症支援 『RUN伴（ランとも）』北海道2024旭川ステージ

認知症の人への誤解や偏見を取り払い、住みよい地域づくりを目指す『RUN伴（ランとも）』が、9月7日（土）に開催されました。この『RUN伴』は、人びとがつながり・応援と労い合う気持ちを駅伝のタスキリレーになぞらえた普及啓発イベントです。全国各地で開催され、オレンジ色のタスキが北海道稚内市から沖縄県那覇市までつながります。森山メモリアル病院のリハビリテーションチームによる準備運動の後、午後1時に中村先生による号砲でスタートし、北星・旭星地域の11か所の中継所を認知症支援に携わる12人のランナーが笑顔で巡りました。全長約8.8 kmの沿道では、応援グッズを手にさざめく人たち、あたたかな声援がランナーの背中を押してくれました。また、森山メモリアル病院のリハビリテーションチームは、ランナーとして、サポート役として、イベントを大いに盛り上げたこととは言ってもありません。

「タスキをつなぐ」という非日常的な体験・出会い・気付きから、地域で暮らす人びとがお互いを知り、同じビジョンを描きながらつながり合うきっかけになればと願っています。



## 外来診療担当医表 (状況により急遽変更する場合があります)

### 森山病院

【診療時間】 午前 9時～12時30分 (受付は12時まで)

【休診日】 第1・3土、日、祝日

午後 1時30分～5時30分 (受付は5時まで)

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	森山 山田 池田	森山 打矢 池田	山田 青島 旭医大	旭医大	山田 池田 旭医大	青島
	午後	打矢	山田 青島	旭医大	打矢 旭医大	青島 旭医大	—
心療内科	午前	—	千葉	—	千葉	—	—
	午後	すいみん 外来	—	すいみん 外来	—	すいみん 外来	—
外科	午前	森山(博) 松田 旭医大	森山(博) 松田	森山(博) 松田 多田 松下	森山(博) 松田 多田 松下	森山(博) 松田	森山(博) 松田 多田
	午後	森山(博) 松田	稲葉 森山(博) 松田	森山(博) 松田 松下	稲葉 森山(博) 松田 松下	稲葉 森山(博) 松田	—
※午後からは、回診・手術を行う場合があります。							
整形外科	午前	仲 有山	仲 味戸	※2 旭医大	※2 旭医大	有山 味戸	※2 旭医大
	午後	味戸	有山 旭医大	—	—	仲 旭医大	—
※旭医大医師不在時は当院医師が担当します。 ※月1回金曜日午後には、スポーツ外来をおこなっています							
脳神経外科	午前	高野 安栄	渡邊 寺井	渡邊 安栄	渡邊 寺井	高野 寺井	高野 渡邊
	午後	高野 安栄	高野 渡邊	渡邊 安栄	渡邊 寺井	高野 寺井	—
形成外科	午前	—	—	伊藤 市村	伊藤 市村	伊藤 市村	伊藤 市村
	午後	—	伊藤 市村	—	—	伊藤 市村	—
泌尿器科	午前	本間	旭医大	本間	旭医大	本間	旭医大 メンズヘルス外来
	午後	本間	—	本間	—	本間	—
※午後の外来診療は午後2時00分からです							
眼科	午前	石子 石田	石子 石田	石子 石田	石子	石子 石田	石子 石田
	午後	石子 石田	石子	石子 石田	当院医師	石子	—
耳鼻咽喉科	午前	内田	内田	内田	内田	—	—
	午後	—	—	—	—	—	—

### 森山メモリアル病院

【診療時間】 午前 9時～12時30分

【休診日】 第1・3土、日、祝日

午後 1時30分～5時

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	丹野	—
	午後	—	中村	—	中村	—	—
整形外科	午前	中島	梨木	中島	梨木	中島	—
	午後	中島	梨木	中島	—	中島	—
脳神経外科	午前	林	高野	林	高野	林	林
	午後	—	—	—	—	—	—
リハビリテーション科	午前	—	—	浅野目	—	森泉 (予約制)	—
	午後	森泉 (予約制)	—	—	—	遠藤 浅野目	—

## 事前問診をご利用ください

### 来院する前に

スムーズな診察室内のため  
事前問診にご協力ください

回答を  
始める

・所要時間3～5分  
・PC又はスマートフォンから回答可

Powered by Ubiin

森山病院ではスムーズな診察を行うため、来院前に事前問診がご利用いただけますので是非ご活用ください。

※右のQRコードから  
ご利用いただけます。



### 編集後記

いよいよ冬がやってきました。今年  
はどんな冬になるのでしょうか？地球温暖化の影響で、今、春と秋が極端に短くなっているそうです。酷暑の夏と極寒の冬。日本の特徴の「四季」が「二季」になってしまう日も近いのかもしれませんが。お花見と紅葉狩りの伝統を守るためにも、今からでも何かできることを考えたいものです。ちなみに私は、エコバックやマイ箸の使用と、食品ロスを最低限にするよう心がけています。

(企画委員 中川)



第132号

発行／社会医療法人元生会

〒078-8392

旭川市宮前2条1丁目1番6号

TEL 0166-45-2020

編集者／元生会企画広報学術委員会

元生会WEBサイト

<https://www.moriyama.or.jp/>



## 観楓会を開催

令和6年9月13日（金）、観楓会を開催いたしました。職員の親睦を図るための行事として以前は道内各地で宿泊を伴った宴会をしていましたが、今年はOMO7旭川で宴会となりました。大きな会場に職員約320人が出席し一緒に食事をするので楽しい時間になったと思います。会の中盤行われた観楓会恒例ビンゴゲームは白熱し、一番の盛り上がりを見せました。職員のお子様も数名出席しておりましたが、楽しんでいたようで帰り際に「すごく楽しかった～」と言っていたのが印象的でした。今後もこのような会を機に部署、世代の垣根を超えて親睦を深めていければと感じました。



## 「知る」ことから始める認知症支援 『RUN伴（ランとも）』北海道2024旭川ステージ

認知症の人への誤解や偏見を取り払い、住みよい地域づくりを目指す『RUN伴（ランとも）』が、9月7日（土）に開催されました。この『RUN伴』は、人びとがつながり・応援と労い合う気持ちを駅伝のタスキリレーになぞらえた普及啓発イベントです。全国各地で開催され、オレンジ色のタスキが北海道稚内市から沖縄県那覇市までつながります。森山メモリアル病院のリハビリテーションチームによる準備運動の後、午後1時に中村先生による号砲でスタートし、北星・旭星地域の11か所の中継所を認知症支援に携わる12人のランナーが笑顔で巡りました。全長約8.8 kmの沿道では、応援グッズを手にさざめく人たち、あたたかな声援がランナーの背中を押してくれました。また、森山メモリアル病院のリハビリテーションチームは、ランナーとして、サポート役として、イベントを大いに盛り上げたこととは言うまでもありません。

「タスキをつなぐ」という非日常的な体験・出会い・気付きから、地域で暮らす人びとがお互いを知り、同じビジョンを描きながらつながり合うきっかけになればと願っています。



## 運動器の健康・日本賞「奨励賞」を受賞

訪問リハビリテーション事業所福祉村サテライト出張所に所属している大河原七生（理学療法士）が公益財団法人 運動器の健康・日本協会が取り組んでいる「運動器の健康・日本賞」において「奨励賞」を受賞しました。この賞は日本全国各地で行われている各団体・機関および個人の運動器の健康増進活動の最も独創的かつ優れた活動を顕彰しているものです。

「この活動が高く評価され、広く多くの方に知っていただけたことを本当に嬉しく思っています。この活動にご協力いただいた保育施設や鷹栖町役場の皆様、そして子どもたちに心から感謝しています。今後も仲間を増やし活動の幅を拡げながら、鷹栖町民の健康に寄与していきたいです。」大河原七生

### 活動内容

鷹栖町において理学療法士3名で「Tptティプト」という任意団体を設立し、活動の一つとして令和2年度より子どもたちの足を守るため「浮き趾（うきゆび）の調査」を開始。（浮き趾とは足の趾が床面と接地していない状態を指しており、外遊び量の減少や合わない靴を履くことが原因といわれている。）

鷹栖町の保育園および認定こども園に通っている3～6歳の子どもたちを対象に、ピドスコープという機器を使用して足裏の形態計測を実施。調査初年度には80%以上の子どもたちに浮き趾がみられていたが、令和6年度には67.8%まで減少するなど、少しずつ成果が出始めている。また、足裏の形態計測の結果を保護者に個別にフィードバックすることで、靴の選び方や姿勢についての知識を深めてもらう活動をしている。



## 忘年会を開催

活動の幅を拡げながら、鷹栖町民の健康に寄与していきたいです。」大河原七生

## ○治療

治療には、手術や血管内治療のほか、その他の補助療法や、薬物治療・予防治療などといった保存的治療が存在します。

### ・手術

下肢の血流障害に対する手術治療には多数の手段があり、血流状態や病変の部位、程度などにより適したものが選択されます。

### (図1)

### ・血管内治療(いわゆるカテーテル治療)

主に局所麻酔で、皮膚から注射針で血管内にアプローチし、細い管を介して様々な治療用器具を駆使して(カテーテル操作)治療を行なっていく方法です。代表的にはX線透視下で造影剤などをを用いて血管状況を確認しながら行います。狭窄部に対しては、バルーンでの拡張や金属製のステントの留置、またステントと人工血管が組み合わさったステントグラフトなどを使用する他、治療部位の動脈硬化の再燃予防に、特殊な薬剤を使用したバルーンやステントなども多く使用されます。

### (図2)

また血管を詰めて閉塞させたい場合などでは、金属製のコイルなどを用います。

### (図3)

大動脈瘤に対する血管内治療として、ステントグラフト内挿術も低侵襲手術として選択されています。

### (図4)

腹部大動脈瘤では、開腹で人工血管に置き換える手術が行われます。

### (図5)



# 通所リハビリテーションとは？

通所リハビリテーション（デイケア）は、医師や理学療法士、言語聴覚士、介護福祉士などの専門職が常駐する居宅サービスの1つで、リハビリ・送迎・入浴・食事・レクリエーションなどのサービスを提供し、要介護者、要支援者の生活の自立を支援するサービスです。

通所リハビリテーションは、専門職が連携し、利用者の病状に変化があった際にも迅速に対応できる体制を整えています。さらに、定期的な評価が実施され、利用者は自身の身体能力や生活能力の変化を明確に知ることができます。

当事業所は自主性の向上への取り組みに力を入れています。個別でのリハビリだけでは身体機能の向上は見込みが低く、空き時間の有効的な活用や私生活での活動性の向上が必要不可欠です。自主的に行なえる運動の紹介や私生活での注意点を紹介する健康講座、みんなで運動を行い、社会交流や運動が楽しいと感じる機会を作る集団運動を行っています。これらの取り組みにより当事業所では、利用者の自主的な活動量の向上に繋がり、心身の

機能を向上させ、よりよい生活をサポートすることができています。



集団運動の様子

要支援者が対象の介護予防通所リハビリテーションでは、生活機能を向上させるために、「運動機能の向上」「栄養改善」「口腔機能の向上」に関連するサービスを利用することができま。これらの3つを一体的に取り組むことで、本来の健康を保ちながら在宅

生活を継続できる支援となります。大切な事は、ご自身の自立した生活を過ごすために、本人に寄り添ったサービスを検討し、活動的な生活習慣に調整する事です。要介護認定を受けられている方で、社会交流・運動の機会を持っていない方は是非、サービスの利用をご検討下さい。



森山メモリアル病院

通所リハビリテーション事業所

三上隼人

看護師・コメディカル・介護職員など、一緒に働いてくれるスタッフを募集しています。詳しくはこちらをチェック



元生会求人サイト

## すいみん外来

Sleep Clinic



不眠や昼間の眠気、睡眠時間帯の昼夜逆転、寝ぼけ、悪夢、レム睡眠行動障害、むずむず脚症候群など。

診察日や詳細などのお問い合わせは、森山病院(0166-45-2020)まで

## スポーツ外来

Sports outpatient



肩・肘の投球障害をはじめ、スポーツ全般に対応いたします。早期発見・早期治療・重症化の防止が大切です。

診察日や詳細などのお問い合わせは、森山病院(0166-45-2020)まで

# お知らせ

## 「塾」のご案内

令和6年9月13日（金）、観楓会を開催いたしました。職員の親睦を図るための行事として以前は道内各地で宿泊を伴った宴会をしていましたが、今年はOMO 7 旭川で宴会となりました。大きな会場に職員約320人が出席し一緒に食事をするので楽しい時間になったと思います。会の中盤行われた観楓会恒例ビンゴゲームは白熱し、一番の盛り上がりを見せました。職員のお子様も数名出席しておりましたが、楽しんでいたようで帰り際に「すごく楽しかった～」と言っていたのが印象的でした。今後もこのような会を機に部署、世代の垣根を超えて親睦を深めていければと感じました。

### 花咲くリハビリ体操健康塾

毎月第3土曜日

9：（ウォーキング）

参加費：300円/回

※8月はお休みになります。

## 10検査を受けられる日です。

森山  
病院

J.M.S（ジャパン・マンモグラフィー・サンデー）は休日の日曜日に「乳がん検診」を受けられるよう、検査は予約が必要になりますので下記お問い合わせまでお電話ください。

お問い合わせ：0166-45-2031（森山病院 健診センター直通）

実施時間：8：30～12：30 予定

検査内容：マンモグラフィー＋視触診 ※女性医師・女性技師が対応

実施人数：円（社保の方）

① 70歳以上 無料

② 上記以外の方 4,400円(税込)

## 第34回家庭でできるリハビリテーションの会を開催

8月18日（日）に「第34回家庭でできるリハビリテーションの会」を無事終える事ができました。昨年度

## 小中学生を対象とした野球肘検診

令和2年11月24日に新しい森山病院が開院し、新たなスタートを切りました。同時に予防医学・スポーツ医病院スポーツ医学診療センター助教が中心となっています。また、旭川明成高等学校で市内初となる女子野球部が誕生し、当医学センターが中心となりメディカルチェックやトレーニング指導を継続して行っています。

このように、少しずつではありますがスポーツ医学センターの活動が形になっており、今後も出来る範囲で地域の皆さまのスポーツ活動のサポートができればと思っています。

(森山病院 リハビリテーション部 中村 賢)

---

## 講演会「日常生活でできる脳のチェック」大好評で終了

7月27日（土）に東神楽町ひじり野のふれあい交流館で開催。森山くの方々が脳の健康についての理解を深め、日常生活におけるセルフケアの重要性を再認識する機会となりました。森山病院では、今後も地域の皆様に役立つ健康情報を提供する講演会を積極的に開催していく予定です。

## 北海道オール・オリンピアンズと包括連携協定を締結

令和6年8月17日（土）、森山病院8階MORIYAMAホールにおいて、当法人と北海道オール・オリンピアンズとの間で、地域社会の健康促進とスポーツ振興を目的とした包括連携協定を締結しました。

北海道オール・オリンピアンズは2012年に設立の協力やスポーツ振興による地域の活性化につなげていきたいと思いをします。

---

## 自衛消防訓練記録会に参加

8月22日（木）に行われた自衛消防訓練記録会に、参加してきました。

補助散水栓の部に午前は森山メモリアル病院の職員